



みかん8万個で絵文字づくり (生比奈小学校)

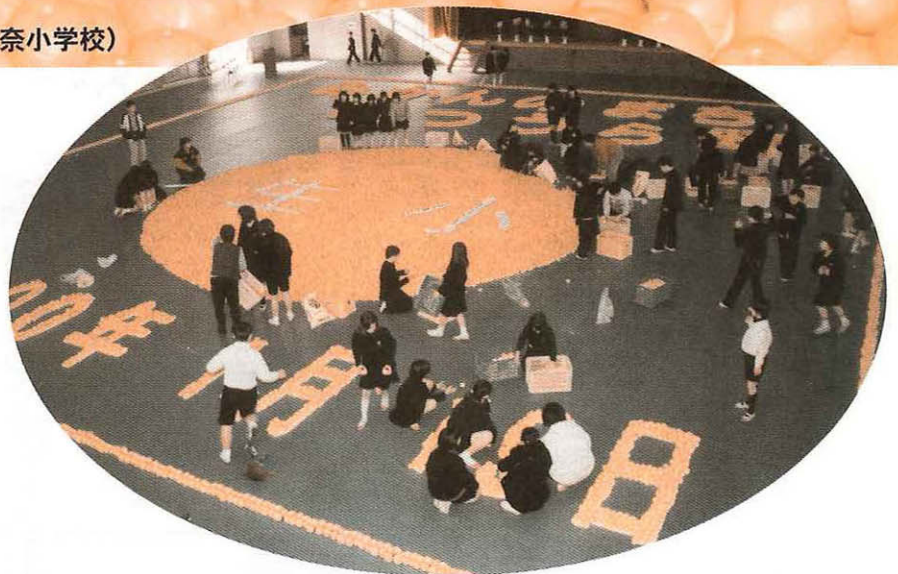
いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No.10

2000.2.15発行

発行 徳島県勝浦町議会
 編集 議会広報調査特別委員会
 〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
 TEL (08854) 2-2511



12月議会で決まったこと	2~3
委員会の活動報告	4~5
一般質問11議員が登壇	6~15
おじゃまします・議会のうごき 高瀬舟発着場跡記念碑建立	16

0万円など 8万5千円を可決!!

12月定例議会

このようなことが決まりました

十二月十日から二十一日までの十二日間開かれ、補正予算、条例改正と教育委員会委員の任命同意、人権擁護委員の推薦などについて審議し全議案を全員一致で可決しました。

一般質問には、十一人の議員が登壇、活発な論議が展開されました。

議案に対する主なやりとり

一般会計

補正予算について

問

災害復旧の査定で落とされたもの、今回、査定を受けられなかった箇所はないか。

答

申し出のあった災害箇所はすべて査定を受け、落とされた所はない。

問

今山橋関係の補正が一億円となっているが、国、県支出金五千万円は確保できているのか。

答

国の二次補正に期待していたが、入っていない。三次補正がなければ今年度はできなくなった。

沼江地区基盤整備

事業について

問

計画通り実施できるのか。

答

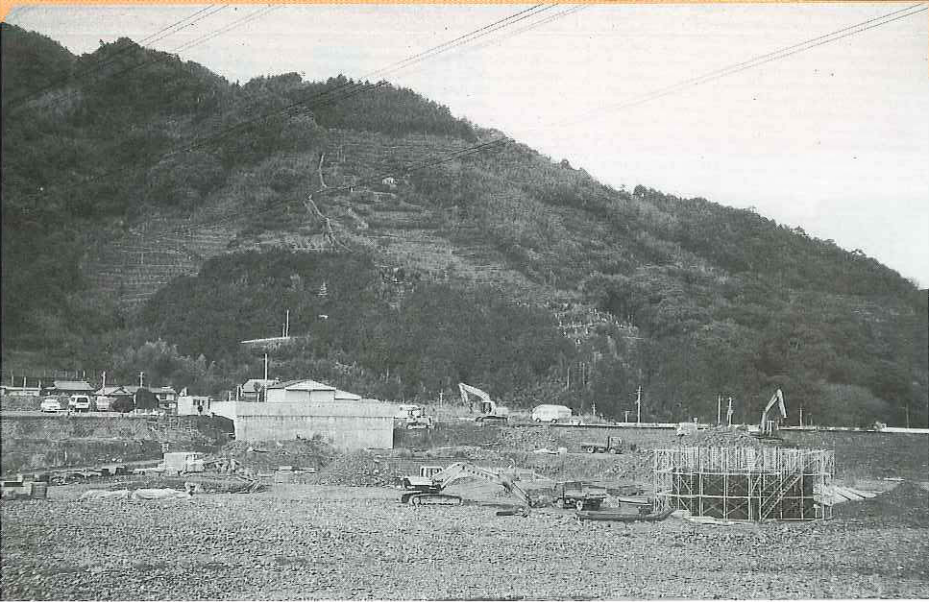
十二年度新規採択で国へ申請しており、内諾を得ている。

問

実施までの、作業手順は。

答

議会の議決を得て県知事に申請し、土地改良事業に基づく許可を受け事業着手となる。



13年度に完成するのが 新今山橋

一般会計補正予算

災害復旧費 5,42

1億5,52

請願を

委員会に付託

代表者味間喜久雄、山田宗夫両氏から提出された「介護保険の改善を求める請願」を厚生常任委員会に付託しました。

10年度決算を認定

15項目の意見をつけ

総務委員会に付託されていた平成10年度各会計の決算について、総務委員長から15項目の「特に留意すべき事項」の意見をつけ認定すべきとの報告があり、質疑の後、全員一致で認定しました。

企画財政課 ①高率債の繰上償還と財政の健全化
②有利な財源確保と効率的な予算執行を

総務課 ①消防体制強化策の検討
②職員の時間外勤務の軽減

同和对策課 ①住宅新築資金等の未収金の早期徴収と会計の健全化を
②主体性を持って一般行政への移行を

福祉課 ①介護保険実施に万全の対応を

税務課 ①納税意識の高揚と納税相談の場を
②保健予防策の強化

産業振興課 ①効果的な農業振興策を

環境課 ①農業集落排水事業会計の適正な会計処理と未収入金の徴収、および加入の推進
②住宅使用料等の滞納の解決を
③クリーンセンターの維持管理費の負担軽減策の検討

住民課 ①保育料滞納の解決を

勝浦病院 ①介護保険制度の対象となる療養型病床群への転換に向けたスムーズな取り組みを

問

職員の時間外勤務の軽減に務められたいとあるが、どのような方法をとればよいのか。

答

総務常任委員長 数字をみるだけの審議では判断できない。理事者が十分詰めた論議をして、その方針を議会に示してもらいたいと考えている。

中西晴美議員

特別表彰



在職三十年以上の町村議員として、全国町村議長会創立五十周年記念特別表彰を受けました。

教育委員会委員に

相原 亨氏の後任として

沢井元一氏(三溪)の

任命に同意

人権擁護委員に

森脇和一氏(沼江)の

推薦に同意

総務

新行革大綱

五年間で5%の職員定数削減

十二月六日、委員会を開き、新行
政改革大綱等について説明を受け審
議しました。

問 機構改革の具体案は。

答 三案ほど町長に提案している。

問 機構は短期間に何回も変える
ものではない。

答 国も変動しており、その時そ
の時の判断がある。

問 同和对策課についても一括し
て提案すべきだ。

答 法期限内は置くべきという同
和団体の考え方もあり、政治
的配慮がある。

問 五年間で5%の職員定数削減の
根拠は。

答 現定数は百五十五人。介護保
険に二・五人、地方分権で二
〜三人の増員が必要であるが、
民間委託なども考える中で五
%の削減に努める。

生比奈財産区

除間伐を推進

福野要生比奈財産区議長、中田明
男森林組合書記の出席を求め、
財産区運営の問題について
協議し、除間伐の推進や
森林保険の加入を進め
ることを確認しまし
た。

産業建設

農業改良普及センターの再編

サービス低下を懸念

十一月二十六日に委員会を開催
し、県農業改良普及センターの再
編問題や、請願の処理、補正予算
等について説明を受け審議しまし
た。

問 小松島勝浦普及センターが
徳島普及センターに統合さ
れ、支所となれば勝浦農業
にとって大きな問題だ。

答 県の担当者に実情の把握と
理解を求める場を作りたい。

県道和食一勝浦線・ 鶴林寺線改良の 請願を協議

問 登記できない事情は。
百%できなければ供用でき
ないのか。

答 公図訂正や百三十九人の共
有地もあり、多くの手間と
費用が必要。限りなく百%
でなければ、県は供用しな
い。ただし、部分供用はお
おむね一kmが最低条件。

問 拡幅は、町費でする
のか。

答 供用開始がされてい
る部分改良は十五%
の町負担がある。

十二月補正について

災害査定は十九箇所

問 災害査定率は。

答 査定率は九十%である。

問 大きな工事箇所は。

答 立川地区二千万円、坂本
地区千八百万円で、あとは一
千万円以下の額である。

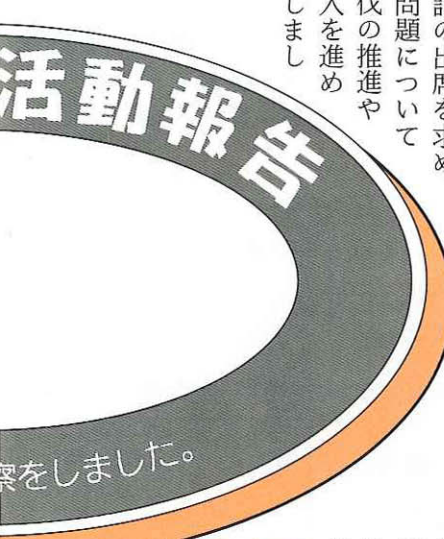
立川吉ヶ平線を舗装

問 舗装の進み具合は。

答 今回県単林道事業で三百m
舗装するので、六十七%の
進捗率となり、残りは千m。



迫まれる効率的な行政運営



をしました。



徳島に統合される小松島の普及センター

厚生

地域交流スペース

認定もれの人全員が利用

十一月二十九日、十二月二十一日に委員会を開催しました。

介護保険、町営住宅設置及び管理条例、社会福祉施設（グループホーム）の事業計画について説明を受け審議しました。

問 勝浦町の介護保険料は。

答 平均で、三千円程度の見込みである。

問 町の負担率はいくらか。

答 十二・五％である。

問 ヘルパー資格を取りたいとの主婦の要望があるが。

答 当面は、三級資格取得を進めていきたい。

問 地域交流スペースは、要望があれば全員利用できるのか。

答 認定からもれた人全員が利用できるものと考えている。

中角住宅の公募問題

問 新築した二戸の住宅は、一般公募するのか。

答 十分内部調整してから行いたい。

痴ほう性老人の

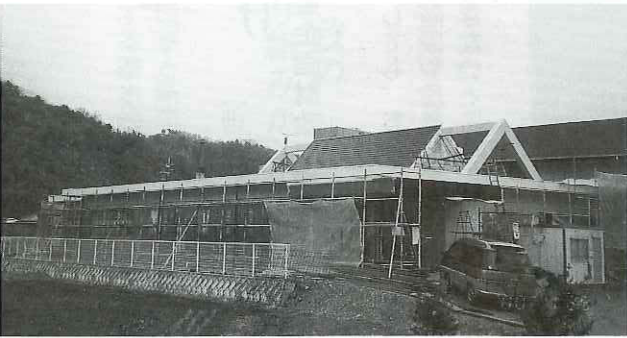
利用施設を建設

問 地元の了解が得られるなら、実施に向けて申請してよいのではないか。

答 理事会を開催してもらい、意思決定し資金計画も明確にしていきたい。

問 事業費と完成予定は。

答 事業費は五千四百万円。うち国補が二千二百万円、県一千百万円、残りは勝寿会が負担。入所人員は九人であり、完成予定は九月である。



サービス充実へ建設が進む、地域交流スペース

委員会の

審査・調査・視

総務・厚生合同

幼児教育を充実

保育料も引き下げ

十一月二十九日、総務・厚生合同会議を開催し、保育所の運営方針について理事者から説明を受け審議しました。

主な内容

従来の保育を行う「幼児教育・保育コース」と、五歳児を対象に就学前教育を最優先した「幼児教育コース」（九時～十三時三十分）を設け、保護者が選択できるようにする。

保育料もできるだけ引き下げ、子育て支援を充実する。

問 保育料を引き下げる

答 ことによる収入減は、約百七十万円減の予想。五歳児が幼稚園並の時間で帰る場合には、約三百五十万円減となる。

問 どのように教育の充実に図るのか。

答 主管課は住民課。保育内容審議会を置き、教育委員会・小学校と連携して取り組んでいく。



幼児教育を充実し保育料の引き下げも

段差のない町構想を

次期振興計画で位置づけ

(参事兼企画財政課長)

福徳重二議員



集会所にしても、お年寄りや障害者が階段や段差があるため利用できないところがある

る。公共施設、準公共施設、民間施設、道路設備等全ての人が利用できるよう、全町的なバリアフリー（段差のない）構想を打ち立ててはどうか。

答

長 滝花参事兼企画財政課長 次期振興計画の中



集会所もバリアフリーに

小規模水道も

町管理にしては

問 本来、町は上水道を完備し管理運営をすべきであるが、勝浦町は上水道がなく、簡易水道とそれ以外の小規模水道である。簡易水道は町が管理し、小規模水道は管理をしていない。小規模水道も町が管理をし、公平なサービスをすべきでないか。

答

桂木環境課長 法律により小規模水道は町で管理できないが、滅菌装置のある施設には滅菌剤を現物支給する。

二千年問題は万全か

問

役所から一般家庭まで普及している。誤作動の最悪の状況を考えると、人命にかかわることがいくつもある。勝浦病院の医療機器や防災体制などに影響はないのか。また、万一に備え役場、病院に仮設電話を設置すべきと思うが。

答

国清総務課長 二千年問題対策本部を設置しているの、想定される事態への対応は万全である。電話不通時には防災無線等を利用するので、仮設電話の必要はない。

答

河野参事兼病院事務局長 医療機器については、停電時は自家発電機を使用する。

問 公共施設ではエレベーターやスロープに改良され、車椅子や電動三輪車で利用可能な所も多くなったが、まだまだ十分とはいえない。

火災 水害

心配ないか 町の危機管理

消防団員二百四十人が対応

(総務課長)

森 健 議員

答

国清総務課長 火災では山林四件、住宅七件

集中豪雨と台風によるもので、警報がでた場合は、災害対策本部を設置し、本団待機、または指定分団、全分団詰所待機と状況に合わせて二百四十人が対応している。被害の大きかったのは、平成十年の台風七号で、床上六戸、床下四十戸の浸水と山崩れ、町道崩壊等が九件あった。

協定による出動要請が必要になってきている。水源水利は百七箇所あり、月二回の点検をしている。

現場に近づけない消防車



頼りにしています 町の防災

一般質問



問 火災、水害等で、過去三か年間に消防団が出勤した状況とその内容、原因は。

が発生している。山林の延焼面積は百㎡と軽微なもので初期消火の効果が出ていると思われる。
住宅は、延べ二百九十五㎡と、かなりの被害が出ている。出勤人員は延べ八百九十人である。原因は、たき火、石油ストーブ、ガスコンロ、火遊び等である。
水防は、八件の出勤があり

問 機器、装備、設備とその点検等はどのようになっているか。
国清総務課長 町内に十箇所の詰所がある。機器、装備等では、普通ポンプ車三台、小型動力ポンプ付積載車七台、水防対策用広報車一台である。高所火災、化学消火等を要するものについては、小松島市等との応援

交通整理に協力を



問 火災発生時の交通整理、延焼防止、水利の確保、団員の安全確保、活動のための訓練や学習はどうしているのか。
国清総務課長 交通、水利、初期消火の手助け等は自主防災団の協力を受けている。

訓練や学習については、年二回の本団連絡会議と年四回の分団長会議や新入団員研修会、県で行う幹部研修会等実践体制、有毒ガスからの安全確保等について研修をしている。

新行政改革大綱への取り組みは

できるところから緩やかに (町長)

宮本久治 議員



問 町長は、任期二年余りで、大綱十項目を全部実施する考えか。また、何項目かを重点的に行うのか。

答 川口町長 できるところから緩やかに取り組む。一番財政が厳しいと予測される十六年度までに財政再建団体に陥らないよう必死でやっつけていきたい。

問 職員の特殊勤務手当、時間外手当、県内出張旅費や日当などの支給要件の見直しや廃止を検討するところか、法律に違反することはないのか。
倉橋助役 条例改正に

あたっては、法的に違反のないよう処置するのは当然のことである。また、職員組合との事前協議も必要である。

財政再建について

問 財政硬直化の原因をどのように考えるか。
滝花参事兼企画財政課

答 長 町の力以上に町民経済の活性化に努めたこと、急激な社会経済の変化を予想できなかったことなどいろいろな要因があるが、少しは余力のある財政運営をすべきではなかったのかと反省している。

問 公用車は何台あるのか。その年間経費は。また、課の統廃合などで台数は削減できないか。
国清総務課長 乗用車

十二台、貨物自動車十六台、消防関係十台で計三十八台。経費は二百八十三万円である。台数の削減については、課の統廃合を行った後検討したい。

問 慰霊祭はもう少し簡素化できないか。
岡本住民課長 平成十一年度の経費は七十万円であった。

答 簡素化については遺族会役員会でも協議したが、まだ煮詰まっていない。今後さらに協議をしていく。

住宅マスタープランについて

問 平成十一年度は、生名地区を調査するところか、その時期は。
桂木環境課

答 長 用地関係者に説明は終わ



住宅マスタープラン生名地区調査地

新行政改革大綱

職員定数五%減員の根拠は

民間委託や体制のスリム化を図る

(町長)

中田丑五郎 議員



総合窓口の設置を

住民の利便性の向上を図るため、窓口カウン

ターを低くすることはどうなっているか。また、介護保険の導入等による行政ニーズの多様化に対応するため、総合窓口の設置を機構改革に合わせて改善してはどうか。

答 岡本住民課長 窓口カウンターを低くすることについては平成十二年度に実施する。

問 平成十二年度から五年間で、定数五%の減員を目標としているが、定数管理計画による現在の定員数は適正なのか。また、定数五%減員の根拠は。

答 川口町長 介護保険制度や地方分権時代を迎え、職員研修や人材育成のための増員もあるが、今後一部事務の民間委託や体制のスリム化を図る減員等もあり、五%となった。平成十二年度に定数管理計画を見直す中で、検討し慎重に行っていくきたい。

十二年度予算に調査費を計上、ハード面への整備に取り組む考えを示しているが、その構想と町の対応は。

答 滝花参事兼企画財政課長 地域全体の活性化のため産業、観光、文化を含めたビジョンを作成し、県が新長期計画の中へ位置付けをして事業実施となる予定。

町としては、四町村との連携の中で事業実施に向けて策定を行っている段階である。坂小跡地利用もそのプロジェクトの中で、検討されている状況である。

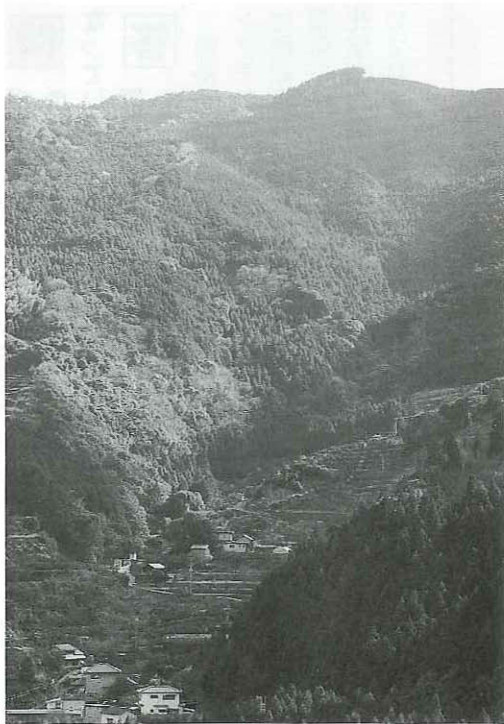
山林火災における

広域防災体制への

取り組みは

問 平成八年五月に、立川地区で発生した山林火災は多くの教訓を残している。山林火災は人家への延焼だけでなく、町内八箇所の簡易水道は谷川を水源としており、飲料水への影響も予測される。県の防災ヘリの出動、隣接市町村等関係機関との連携強化を図る目的で、合同訓練を実施してはどうか。

答 国清総務課長 消防本部と協議をし、平成十二年度には総合的な訓練を実施したい。特に、防災ヘリとの訓練では林業従事者の安全確保面からの訓練も含めて行いたい。



守りたい豊かな緑と水資源



安心な暮らしを ホームヘルパー

ホームヘルパーの

養成研修は

問 ホームヘルパーの養成研修会の希望アンケート調査結果と、研修会の開催時期は。多くの人が参加できる取り組みを。

答 光井福祉課長 アンケート調査の結果、三級は八十六人が希望。三級ヘルパーの養成研修を平成十二年度の早い時期に実施。勤めている人が参加しやすいように土・日曜日に計画をしたい。

徳島国際文化村 構想への対応は

問 十一月県議会一般質問において、知事は平成

一般質問

新規就農者に対する方策は

特例を設け支援していく (町長)

川端雅夫 議員



進するためには、農業委員会が一層の機能を発揮すべきではないか。

答 戸川産業振興課長 委員会として農地の流動化を含め、今後一層の努力をしていきたい。

問 後継者不足、高齢化、人手不足のため、ファームサービスが果たす役割は大きいと思うが、現在は目一杯と聞く。農業公社の設立を

考えてはどうか。
答 戸川産業振興課長 民間組織か、公社設立かについては、もう少し時間をいただきたい。

問 新規就農者、Uターン就農者に対し、どのような支援策を考えているのか。

答 川口町長 意欲のある人に対しては、町に永住することを条件に特例を設け支援をしていきたい。

問 聞き取り調査は、一人では公平な調査ができないと思うが。

答 光井福祉課長 調査は八十五項目全国一律であり、マニュアルに基づき、確かな調査ができています。

問 聞き取り調査は、一人では公平な調査ができないと思うが。

答 光井福祉課長 調査は八十五項目全国一律であり、マニュアルに基づき、確かな調査ができています。



認定審査会

額にすると、町は保険料を徴収するのかわ。川口町長 国の方向に従い、保険料は徴収しない。

問 過去六年間の足跡を振り返る中で、沼江バイパスの早期完成、住宅施策など新総合振興計画の中に盛り込まれているが、その成果と反省に立って今後二年間の最重要政策は何か。

答 川口町長 できたこととできなかったことがあるが、住民福祉の向上や勝浦川の総合開発、住宅施策を推進してきた。今後は財政を考へながら、次期総合振興計画の中で示したい。

問 自立と判定された人だけでも再調査すべきと思うが。

答 光井福祉課長 今までは考へていないが、制度では六ヶ月後、再申請できることになっている。

問 調査員の特記事項と医師の意見書との相違はないか。

答 光井福祉課長 審査判定では五人の委員の合意を得るようにしており、不整合の場合は再調査する。

問 国の支援策として、半年は免除、一年間は半

答 川口町長 必要性を考へ凍結もあり得る。

問 公共事業の優先順位を続けるの事業でも凍結もあり得るのか。

答 川口町長 必要性を考へ凍結もあり得る。



農業プロモーション協議会

問 農業プロモーション協議会発足に伴い、どのような取り組みをされるのか。

答 戸川産業振興課長 みかん振興、水田利用、ふれあい、ファームサービスの四部会があり、できることから取り組み、事業実施していきたい。

問 農地の流動化を促

特養老人ホームの増設は

現在は考えていない
(福祉課長)

原田昭三 議員



問 特別養護老人ホームの待機者は、現在何人いるのか。

答 光井福祉課長 待機者数は十六人である。

問 今後、待機者にどのように対応するのか。

答 光井福祉課長 空き室が出るまで待つてもらおうようになる。上勝町にも施設があるので郡内で入所できるのではないかと思う。

問 増設をする考えはないか。

答 光井福祉課長 現在は考えていない。

介護認定ソフトに誤りは

問 認定ソフトに誤りがあると報道されているが、町においてはどうか。

答 光井福祉課長 現在そのようなことはないが、今後とも気をつけて審査していきたい。



保育所の内容充実を

保育内容の充実は

問 保育内容を充実していくための保育所検討委員会報告書の内容は。

答 松浦教育長 管理運営、保育士の情報交換、園児の行動記録、物的整備および保育士の人員二人増が必要であるという報告書である。

問 報告書の通り実施するのか。

答 川口町長 財政が許すならば実施していきたい。

病院などは町が運営すべきでは

問 新行政改革大綱の中で、「町立病院や給食センター、保育所の民間委託や移管を検討する」とあるが、町が運営すべきではないか。

答 川口町長 町立病院については町で運営していきたいが、一部民間委託も検討していく。その他については、財政が許すなら町で運営していきたいが、一応検討してみたい。

同和団体助成金の削減を

問 財政が厳しい中で、議会における見直し削減の通り削減していくのか。

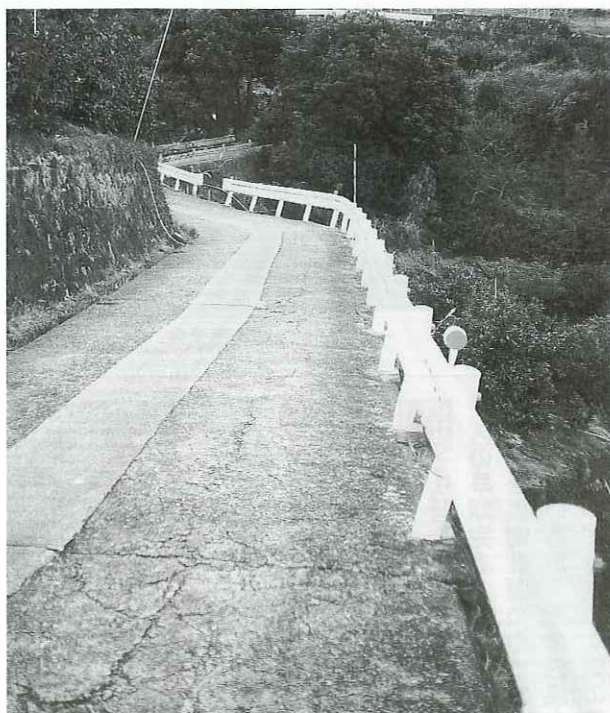
答 川口町長 徳島県町村会や地域改善対策懇話会の話し合いの中で、決めていきたい。

柑橘大会の準備は

問 十三年の全国柑橘研究大会で、中角地区へ視察が来ると言われているが、準備が急がれるのでは。

答 秋本土木課長 町道の補修をしていきたい。

答 戸川産業振興課長 周辺整備やみかん貯蔵のビデオ撮り等いろいろあるが、万全を期したい。



全国柑橘研究大会に向けて町道を補修

柑橘大会への対応と強化策は

貯蔵みかんの町をPRしたい

(町長)

押栗義雄 議員



問 平成十三年全国柑橘研究大会が徳島県で開催され、中角地区が視察地となっているが、地元対策と貯蔵産地としての強化策は。

答 川口町長 貯蔵みかんの町を知ってもらうことが重要と思う。また、大会を契機として販売体制の強化策も必要だ。

答 戸川産業振興課長 県の補助金を優先的に活用したい。また、J A、果樹研究会、地元関係者の連携強化を図るとともに、生産者の意識の高揚も必要と思う。



全国柑橘研究大会視察地（中角地区）

みと、事業の具体的見直しの考えはどうか。

また、町民経済の活性化策についての見解は。

答 川口町長 財政改革は三役、職員一丸となって取り組むことが重要

だ。農業振興や、少子化対策の取り組みなど事業面での順位も必要だが、財政の健全化を基本にせざるを得ない。

答 滝花参事兼企画財政課長 国の

交付税の減少が見込まれる中で、十六年度までに健全財政に向けて全力を尽くしたい。

答 倉橋助役 公共

事業については、景気対策に向けて対応するが、地元分担金の動向をふまえ予算編成したい。

財政改革と

経済の活性化策は

職員一致の

取り組みが必要

(町長)

問

財政改革と新年度予算に対する基本的取り組み

就学前教育実施の

対応策は

保育所の整備が必要

(教育長)

問

保育所における就学前教育実施に向けての対応に問題はないか。また、今後の運営のあり方は。

答

松浦教育長 保育所の環境整備が必要だ。今後の運営については、教育委員会と住民課との連携を図り取り組みたい。

答

岡本住民課長 臨時職員の増員が必要である。環境整備については、国、県の有利な財源を活用する。

答

川口町長 心の教育、特に思いやりの心、感謝の心を育てるべきだ。

今後の焼却場の

運営管理は

広域化の対応が必要だ

(助役)

問

ごみ焼却場の今後の運営管理のあり方についての見解は。

答

倉橋助役 広域化が必要であり、小松島市ほか勝名地区の担当者会議を年明けに開催し、話し合いたい。

答

桂木環境課長 十四年にはダイオキシンの規制が大幅に改正されるため、今の施設での運営は難しい。広域化への取り組みが必要だ。



どうなる焼却場の運営は

みかん振興に専門職を

検討したい (町長)

中西晴美 議員



ウスマかんを重点にしていきたい。

答 戸川産業振興課長 昨年比で大幅に安値で頭が痛い。相対取り引きの増加と供給過剰など厳しい状況の中、町としては市場関係者を招き意見交換したい。

問 町内の出荷体制は、J A二十五%、出荷組合三十五%、商系三十五%、個人五%である。普及センター、J Aと町で、月一回話し合いをしている。勝浦貯蔵みかん販売促進のキャンペーンを推し進めた。

答 J Aや普及センターだけにたよっていても駄目だ。町が主体となり専門職を置いてみかん振興を図るべきだ。

問 川口町長 専門職は技術面と販売面があるが両方には設置できない。小松島勝浦普及センターが徳島に統合なる事情もあるので検討したい。

答 川口町長 夏の長雨であるが、経済不況や輸入果物の進出に加え、消費者の好みがかんよりいちごに向いている。勝浦町では貯蔵みかんとハ



売上げ不振に悩む商店街

町内商工業の現況と振興について

問 商工会の会員は約二百五十人いるが、売上不振で困っている。中でも衣料品や高額商品の落ち込みがひどく、食料品も落ち込んでい

答 多くの商工会の話である。要因としては、不景気ムードで節約することが浸透していること、土木建設関係の仕事が減っていること、誘致企業の撤退の影響、みかんの安値などが考えられる。

振で困っている。中でも衣料品や高額商品の落ち込みがひどく、食料品も落ち込んでい

確保など間接的なことではすぐに結果は出ない。業者が良

答 川口町長 良いものを安く売るなど業者の自

助努力に期待するが、商工会と話し合い、町外での買物を控えて町内で買物するよう町民にPRしたい。

問 新しい行政改革大綱に基づいて新総合振興計画を見直したいというが、重点施策は。

答 川口町長 財政再建を重点として再建団体

問 財政再建には給与費を削減することが重要だ。十二年度はいくら減らすことができるか。また、五年間で職員を五%、八人程度削減するというのが、臨時職員で対応するなどして十%削減すべきだと思うがどうか。

答 国清総務課長 特別職の報酬と管理職手当を削減の方向で検討しており、四百万円程度削減できるものと試算している。職員削減は十年間では十%を検討しているが、介護保険などで人員増の要因もあり五年間五%として目標を達成したい。臨時職員は現在、業務委託も含め四十七人おり、これ以上は住民サービス低下の心配もあるので十分検討したい。

また、町長の任期も残り二年となったが何を重点に町政運営をするのか。

行政改革大綱と町長の政治姿勢は

グループホーム施設の内容は

痴ほう性老人の利用施設（福祉課長）

西浜勝己 議員



元関係者の同意がなければならぬ。寝耳に水では困る。早急に地元関係者と話し合いの場が必要だ。

答 川口町長 一日も早く関係者と話し合いを持つため、日程調整を行ないたい。

問 四月からの介護保険制度の実施にむけて、現在、地域交流スペース事業として施設を建設中であるが、新たにグループホーム施設問題が急浮上してきたと聞く。その内容は。

答 光井福祉課長 十二月九日、特別養護老人ホーム施設長から、国の第二次補正緊急対策予算として、痴ほう性老人利用施設との話があり、現在の特養施設の東側二階ベランダ付近に併設したいとのことである。

問 過去の経過から見て、地元の協力体制が必要である。日照権をはじめ、地



特養東側二階のベランダに併設予定

保育所に

臨時職員の補充を

その方向で

考えたい
(町長)

問 町長は「幼稚園と変わらない内容の充実を図りたい」との答弁を行なってきたが、具体的には。

答 松浦教育長 幼児教育目標に全力で取り組みたい。

答 川口町長 一月に保育所検討委員会から報告を受けたので尊重したい。

問 幼稚園に負けない内容の充実には、二名の臨時職員の補充が必要であると担当課長の答弁であるが、町長の見解は。

答 川口町長 財政は厳しいが、その方向で考えたい。

できるのか

機構改革

ぜひやりとげたい

(助役)



できるか 幼稚園に負けない内容の充実

問 五カ年計画で新行政改革大綱が策定されたが、絵に書いたモチになりはしないか。また、財政の健全化と事業推進の調整は可能か。

答 滝花参事兼企画財政課長 財政の推移を見ながら事業選択をし、事業推進を図りたい。

答 倉橋助役 目標に向かって取り組むことは沢山あるが、機構改革はぜひやりとげたい。最終的には町長の判断である。

問 法に従い行政は執行すべきであり、職員定数など職場体制と、住民サービスの充実には合致しなければならぬと思うが。

答 川口町長 規則、ルールを基本に据え、話し合いの中から円満解決を目指したい。

公共施設に健康器具ヘルストロンを

設置しては

検討してみたい

(町長)

問 住民から健康器具ヘルストロン設置の要望が多い。公共施設に設置できないか。

答 川口町長 住民の要望はかなり強いものがあるが、高電圧と聞く。管理方法等検討してみたい。

二千年への抱負は

問 ゆく年の成果と反省、来る年の抱負は。

答 川口町長 ひたすらまっすぐクリーンにやってきましたが、反省することばかりである。事業面には計画性を持ち実行したい。分権時代への対応や、町村合併も視野に入れ、農業の町として住民が希望の持てる町づくりを目指したい。

広域農道の舗装を急げ

意見調整し実現したい (耕地課長)

森 敏治 議員



問 広域農道の第四工区は路床も完成してから三年が経過し、道は荒れ放題、水が濁るなど住民からの苦情がたえない。早急に舗装すべ

きた。
答 石尾耕地課長 広域農道は、六十五%の進捗率で、県は、路床の完成しているところは、早期舗装に取り組む方針を示している。事業効果を上げるため、期成同盟会や特別委員会と調整し、早く実現したい。

問 町に移管する条件は。
答 石尾耕地課長 路面舗装が完了し、県との間で土地改良財産管理委託契約を締結して町が受け取ることとなる。



急がれる東部広域農道の舗装



どうなっていくのか 病院経営は

町立病院の経営は

問 医薬分業や介護保険のからみから今後どうなっていくか。

答 河野参事兼病院事務局 長 医薬分業については、薬価差益が二二年までに段階的に解消される見通しで、その時点となるう。

療養型病床群については、三月末までに申請することで検討している。介護型病床群については、保険単価も下が

る見通しであり、施設改良も必要であるため、隣接の特別養護老人ホームにお願いする方がよいという考え方である。町立病院をどういう方向に持っていくか慎重に判断しなければならぬ状況である。

問 情報公開制度を早く整備しておく必要があると思うか。

答 河野参事兼病院事務局 長 診療記録の提供に関する事項は、一般行政の情報公開とは異なり、個人のプ

ライバシーの問題があり、慎重に対応しなければならぬ。第四次医療法の改正に基づいてからとなり、一般行政の情報公開制度より早くなる見通しである。

問 新しく就任された税務課長の抱負は。

答 信政税務課長 介護保険制度が四月から施行されることや町内産業の低迷の中、特に、滞納処理が大きな課題であり、税法など勉強し全力を尽くしたい。

二十一世紀への取り組みは

問 町民に夢を与えるような行政とは。

答 川口町長 硬直化した財政状況から柔軟性のある財政改革を行い、大きな事業が行えるようにするとか、農業所得の向上のための施策、若者が参画してくれるような農業行政、ひな人形会館や長期滞在型の施設も。また、全国勝浦ネットワーク構想など、目標をもった行政を考えていきたい。

介護保険料等の減免制度

必要性は認めるか

必要だと思う (町長)

井出幸夫議員



問 低所得者対策のための実態調査の内容は。

答 光井福祉課長 独居老人百二十九人を対象に訪問調査をする中で、対策を考えていきたい。

問 保険料や利用料が払えないためにサービスが受けられない人が出るのは、絶対にないと考えているのか。

答 川口町長 絶対ということとは、この世の中にはない。

問 低所得者に対する減免制度の必要性は認めるのか。

行財政改革

弱い立場の人へしわ寄せするな

問 思い切った軌道修正が必要だ。総事業費の抑制、および、起債発行の限度額を設定する必要があるのか。

答 滝花参事兼企画財政課長 だらだらと事業を続けるのではなく、財政数字を見ながら事業選択を行い、早期に健全化したい。起債の借り入れも抑えていく。

問 病院や保育所、福祉関係などの分野では、「人件費」住民サービスの費用」という面があり、安易な定員減は住民サービスの低下につながるのでは。

答 国清総務課長 行政責任の確保と住民サービスの維持向上を図りながら、検討していく。

問 事業や補助金見直しにおいて、弱い立場の人へのしわ寄せはすべきではないか。

答 川口町長 住民不安が起るような改革はすべきでない。弱い立場の人への配慮をしながらやっていきたい。

同和団体助成金

全町村負担方式の解消を

問 九年九月議会で、同和団体助成金の削減決議を行い、徳島県町村会へ要請してから二年が過ぎた。しかし、全く事態は進展しない。もはや町村会が削減するという見通しはないのか。

答 川口町長 機会あるごとに意見は述べていきたい。

問 町村会に對し、「全町村による負担金方式」の解消を提案するとともに、町からの支出をストップすべきだ。行革というのなら、こういうものこそ真っ先に削減せよ。

答 川口町長 ねばり強く対応していきたいので、気長にお願したい。

保育時間を延長

問 延長保育等で、改善を考えていることは。

答 岡本住民課長 今は午前七時三十分から午後六時十五分の時間帯であるが、来年度からは午前七時十五分から午後七時まで対応する。

在宅サービス 専任ヘルパー設置を

問 川口町長 私も必要であると思っている。

答 川口町長 保険料等が払えない人が出てきても、今のままの制度では救済の道がない。せめて、「町長が必要と認めた場合には減免できる」という項目を入れるべきだ。

問 川口町長 町独自の制度を作るかどうかの答は、今はまだできない。

問 上勝町や上那賀町のように、在宅サービスにおいて、認定もれになった人に対する専任ヘルパー設置については考えていないのか。

答 光井福祉課長 ヘルパーの臨時雇用も含め、今のサービスを後退させないよう検討していきたい。



4月から午後7時まで延長保育

千葉の勝浦とも交流したい



芸術祭の展示を終えて

勝美会（勝浦美術の会）

新居 晋さん

— 活動内容は —

油絵、水彩画を描く仲間、昭和五十九年に結成しました。毎年、郷土文化会館や町の図書館、小松島の「やまなみ」で勝美会を開いたり、和歌山県の那智勝浦町での交流展や交流写生会、県内での一泊や日帰りの写生会も行っています。

また、町の芸術祭には欠かさず出展しています。チャンネルを見て千葉県の勝浦市とも交流をしたいと思っています。

— 議会だよりの感想は —

情報公開が叫ばれる時代に、議会の動きがよくわかってよいと思います。町民のために頑張ってください。

— 議会や町に對しての要望は —

町民所得の向上を図る施策でゆとりを持って、文化活動がますます発展するよう期待しております。

議会のうごき

11 月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 議会広報調査特別委員会
- 5日 第40回四国地区町村議会議長会研修会
- 8日 議会広報調査特別委員会
- 15日 徳島県広域行政・市町村合併シンポジウム
- 17日 町村議会議長全国大会
- 17～19日 勝名地区町村議会議長県外視察研修会
- 24日 小松島市外三町村衛生組會議会第2回定例会
東部広域農道整備促進特別委員会
- 26日 産業建設常任委員会
- 29日 厚生常任委員会
総務・厚生常任委員会合同会議

12 月

- 1日 議会運営委員会
- 6日 総務常任委員会
- 8日 キンキサイン徳島工場設備見学
- 10日 12月定例議会議開会・全員協議会
- 12日 徳島駅伝勝浦郡選手団結団式
- 16・17・20日 12月定例議会再開 一般質問
- 21日 議案審議 閉会

1 月

- 2日 成人式
- 4～6日 徳島駅伝勝浦郡選手団応援
- 6日 徳島駅伝勝浦郡選手団解団式
- 9日 消防出初め式
- 11日 議会広報調査特別委員会
- 12日 過疎町村議会議長研修会
- 17日 全員協議会
- 20・21日 議会広報調査特別委員会
- 25日 同和行政推進協議会
議会広報調査特別委員会
- 28日 町村議会正副議長研修会

高瀬舟発着場跡 記念碑を建立

一月三十日、横瀬橋西詰、せせらぎ橋のもとに世話人と町関係者が出席して除幕式が行われました。



地元の赤岩区長、溝田議員により幕が除かれると、帆をあげた高瀬舟を形どった碑が、街の発展を見守るように姿を現わしました。

この立派な石碑は、横瀬区が町の補助を受け建立したものです。



二〇〇〇年の初仕事、昨年最後の議会の様子をお伝えする編集作業となりました。

この十二月議会は、新たな夜明けを迎えるための激励の意味をこめてか、十一人の質問内容も行財政改革や介護保険、農業振興、就学前教育、生活環境、町づくり、と幅広いものでした。

少しでも親しみやすいものにしよう、読んでいただけるものにしようと、編集会議を重ねること六回、奮闘努力の結果をお送りします。

この議会だよりにあなただご意見、ご提案をお待ちしています。

(健)